まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：

防災危機管理課

シートNo： 59

作成日： 2024/2/5

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期基本計画	施策の大綱	IV生活環境の充実	背景・課題 平成27年9月関東・東北豪雨からの復興事業はおおむね終了し、次なるフェーズとして地域一丸となった防災まちづくりへの転換が求められている状況です。 そのため、自助・共助の根幹を担う自主防災組織の結成促進や市民への防災意識の醸成・高揚を図るとともに、災害備蓄の充実を継続しておこなっていくことが重要です。	目的・意図 地域が一丸となった災害に強いまちづくりを推進するためには、基盤となる地域の防災組織化や、すでに公開している情報入手手段の活用が有効です。そのため、自主防災組織の結成に向けた地区説明会の開催や、地域防災計画やハザードマップの公表、ICT技術を活用したデジタルマイ・タイムラインの推進などを進めます。
	施策の目標	1安全な暮らしを確保する		
	施策	1防災		
	施策内容	災害に強いまちづくりの推進		
その他、根拠法令及び分野別計画		災害対策基本法		
事務事業名		防災対策事業		

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	一般会計	
	款	消防費
	項	消防費
	目	防災対策費
事業	防災対策事業費	

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）			アウトプット（結果）		
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
防災会議の開催	防災会議委員	1回	1回	参加者33名	参加者33名
自主防災組織結成に係る説明会開催	自主防災組織結成検討地区	3回	4回	参加者55名	参加者40名
デジタルマイ・タイムライン勉強会の開催	市民ほか避難支援等実施者	2回	2回	参加者50名	参加者60名
防災士連絡協議会共助促進活動（ブース出展・研修参加など）	防災士・市民	5回	5回	参加者500名	参加者250名
広報紙を活用した防災情報発信	市民	2回	1回	閲覧者20,000世帯	閲覧者20,000世帯

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
防災研修等参加者数	500名	500名
個人行動計画シート作成件数	43件	30件

⑥ 点検

改善の余地						今後の方向性		
☐	コスト	☐	活動	☒	成果	☐	その他	デジタル技術をうまく活用したハザードマップの見せ方やタブレット端末やスマートフォンを使って、避難行動要支援者向けマイ・タイムライン作成を促すシステムの開発を進めていきます。 また、地域防災計画に地区防災計画を位置づけることの利点を伝えながら、組織結成の促進につなげ、災害に強い地域づくりを目指します。
業務の振り返り								
自助・共助の重要性について、啓発活動は活発に行うことができている、研修会等もおおむね期待していたよりも多くの方々に参加いただくことができました。他方で、災害対策基本法の一部改正などによる制度の改変に関しては、制度の理解や施策の必要性を感じております。								

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
自主防災組織結成率	69.1%	100%
デジタル・マイタイムライン活用率	10%	100%